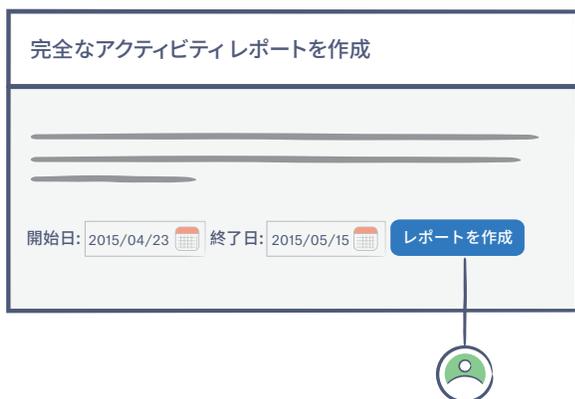


Dropbox Business で可視化と管理を実現

Dropbox Business は、現場のチームが使いたいと思う生産性向上ツールであると同時に、業務に使える安全なツールでもあります。エンドツーエンドの可視性と、強力でありながら柔軟な管理機能によって、オフィスの中でも外でもチームの重要な仕事を保護しています。

- **使用率が高いことによる可視性:** Dropbox は、社員がすでに業務で多用しているツールなので、社内に導入する際も広く使われることを期待できます。その結果、データが一元的に管理されるようになり、ばらばらに存在する状態が解決され、真の可視性が実現します。
- **拡張に対応できる管理機能:** 使いやすい管理機能によって、ユーザーやデータ使用量が増えてもチームを効率よく管理できるため、IT 部門は最も重要な業務に時間を使うことができます。
- **強力な API 統合:** Dropbox のプラットフォームにより、スムーズに Dropbox Business を既存の IT アーキテクチャに統合し、さらにはトップクラスのエンタープライズ ソリューションによって管理を強化することができます。



可視性と状況把握

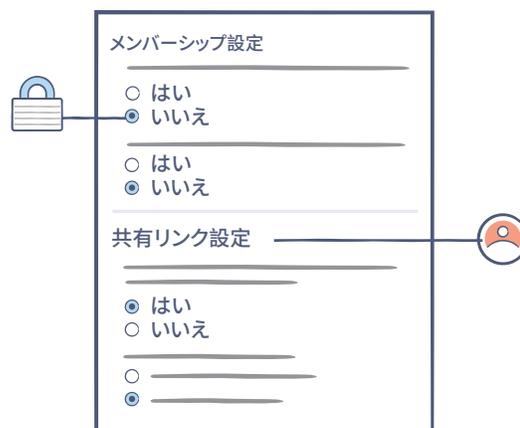
自社での Dropbox の使用量を概要レベルまたは詳細ログで把握

- 管理者用ダッシュボード: チームメンバー、ユーザーのオンボーディング、ストレージを概要レベルで追跡
- 詳細な監査ログ: ユーザーのアクティビティ、ファイルイベント、共有、アプリ、セッション、デバイスについての詳細記録
- メンバー: ユーザーごとに許可を管理し、個別のアクティビティレポートを取得

コンテンツ管理

組織内や外部のパートナーとの間で共有とファイルアクセスを管理

- 共有許可: チーム内またはチーム外での共有と共同作業に制限を設定
- 共同作業の設定: コメントの追加、ファイルの要求、完全削除を有効化/無効化
- チームフォルダマネージャー: チームフォルダへのアクセスを一元的に管理し、どのフォルダを社員のパソコンに同期するかをデフォルトで選択



管理コントロール(続き)



認証とデバイス セキュリティ

いつでも、どこでもユーザーと会社のデータを保護

- 2段階認証の要求:特定の個人またはチーム全体に対して追加の保護を適用
- 仕事と個人の Dropbox を分離:社員が仕事と個人のデータを別々に保持することが可能。また、社員のデバイスでの複数アカウントの使用を制限することも可能
- デバイスのリンク解除と遠隔削除:デバイスを紛失するか盗難にあった場合、または社員がチームを離れたときに、デバイスからファイルを削除

チーム管理

大規模な環境での導入、ユーザーのオンボーディングとオフボーディング、ファイル アクセスの管理を迅速化

- ドメイン管理:会社のドメインにおける個人の Dropbox の使用状況を把握し、個人ユーザーをビジネス用アカウントに移行
- SSO および AD 統合:Active Directory との統合によってアカウントの作成または削除をシームレスに実行したり、SSO による認証の効率化が可能
- グループ:会社が管理するグループを作成(または Active Directory からインポート)して、チームごとまたはプロジェクトごとにファイル アクセスを管理
- アカウント移行:オフボーディング時にユーザー間でファイルを移行することでビジネスの継続性を維持
- ユーザーの停止:プロジェクトの合間、または社員の休職中はアカウントを停止
- ユーザーの代理ログイン:特定ユーザーの Dropbox アカウントの内容を直接把握
- 階層化された管理設定:IT チームに対してさまざまなレベルの管理機能を許可
- エンタープライズ インストーラー:マネージドソフトウェア ソリューションと導入メカニズムを通じて Windows マシンに遠隔で Dropbox をインストール



「当社では、商標登録された多数のデザイン データ、生地データ、その他の機密情報を Dropbox に保管しています。権限を持つユーザーだけにアクセスを許可してデータを保護できるこの方法は当社にとって不可欠です。」

— BCBG Maxazria グローバル情報セキュリティおよびコンプライアンス担当
シニア マネージャー、カール・マー氏
BCBGMAXAZRIAGROUP

管理コントロール(続き)

Dropbox Business API

Dropbox プラットフォームを基盤として構築した当社のエンタープライズ ソリューションは、Dropbox Business の機能を拡張すると同時に、コアとなる IT プロセスや既存のソリューションとシームレスに統合されます。業界をリードするプロバイダが開発した製品を利用することで、導入規模の拡大、特定の規制要件への対応、機密情報の管理の強化が可能になります。Dropbox Business の API により、以下のような統合が可能です。

- 情報漏洩防止: データの流れを監視し、ポリシーを適用することで機密情報を保護
- デジタル著作権管理: 暗号化とデータ アクセスをさらに統制
- セキュリティ情報/イベント管理: セキュリティとインフラストラクチャに関するログ データを収集、監視、分析
- 電子情報開示: 法的な情報開示プロセスを効率化
- データ移行とオンプレミス バックアップ: Dropbox へのデータ移行を拡張、保護
- アイデンティティ管理: 会社のディレクトリ サービスと統合することで、導入がシンプルになり、プロビジョニングの自動化、ユーザー管理の改善が可能
- カスタム アプリケーション: Dropbox Business API により、Dropbox プラットフォーム上でカスタム アプリケーションを開発することも可能

「Dropbox Business を使用することで、誰がどのファイルを、どのタイミングで、どれだけの期間にわたって表示できるのかを完全に管理できます。新入社員が入社するときや、販売チームに最新情報を知らせるときでも、最適な情報を、最適な場所で、最適なタイミングで提供できます。」

— Orkla Foods セールス サポートリーダー、ジョン・エリック・アンダースガード氏

